

〈 取材案内 〉

2025年デフリンピック大会のエンブレム制作がスタート！ (5月10日16時20分 筑波技術大学)取材のお願い

国内で唯一の聴覚障害者・視覚障害者のための
国立大学法人 筑波技術大学がデザイン案を制作

2025年デフリンピック大会のエンブレム制作に当たり、筑波技術大学の学生がデザイン案の作成を行います。国立大学法人筑波技術大学は、国内で唯一の聴覚障害者、視覚障害者のための大学で、今回は総合デザイン学科を中心とした産業技術学部の学生が協力します。このたび、筑波技術大学の学生向けにオリエンテーションを開催しますので、お知らせします。

記

- 日時
令和5年5月10日(水曜日)16時20分から17時50分まで
- 場所
国立大学法人筑波技術大学 天久保キャンパス プレゼンテーションルーム
(茨城県つくば市天久保4-3-15 総合研究棟3階)
<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/access/amakubo.html>
- 内容
 - ・デフアスリートトーク
 - ・デザイン制作方針等の説明(東京都、全日本ろうあ連盟 デフリンピック運営委員会事務局長)
 - ・フォトセッション
 - ・囲み取材(学生、アスリート、全日本ろうあ連盟)
- 参加者
デザイン案を作成する筑波技術大学の総合デザイン学科を中心とした産業技術学部の学生
- 今後のスケジュール(予定)



6 出演デフアスリート

川島 真琴 選手（デフバスケットボール女子日本代表選考メンバー）
やまだ ひろき 山田 洋貴 選手（デフバスケットボール男子日本代表選考メンバー）

<参考>

エンブレム制作の考え方

（2023年3月30日一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック準備室プレスリリースより）

URL：<https://www.jfd.or.jp/2023/03/30/pid25126>

（1） きこえない人を制作の主役に

- 筑波技術大学の総合デザイン学科を中心とした産業技術学部の学生がエンブレムのデザイン案を複数作成

（2） 次代を担う若者や子供たちの参画

- グループワークの参加者（100名程度）を都内中高校生から募集
- グループワークで都内中高校生（ろう学校を含む）が、デザインを選考し、決定

（3） きこえない人と聞こえる人が協働する

- 目指すべき共生社会を体現する作成プロセスとする。
- 制作過程において、手話言語通訳に加え、デジタル技術を活用しコミュニケーションを図る。

<取材方法>

（1）取材申請

取材をご希望の方は、**5月8日（月曜日）17時**までに下記メールアドレスまでお申し込みください。
（申込先のメールアドレス）東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課

S1120906@section.metro.tokyo.jp

※QRコードから申込メールが作成できます。



【記載事項】

メール件名は『【取材申込】デフ「エンブレムオリエン」』とし、貴社名、貴媒体（番組）名、ご担当者名、当日のご連絡先、取材人数（ムービー〇台〇名、スチール〇台〇名、ペン〇名、計〇名）、掲載・放送のご予定を記載いただきますようお願いいたします。

（2）取材に関する諸注意

- ・取材受付は、**15時40分から16時10分まで**、筑波技術大学 天久保キャンパス 総合研究棟にて行います。
- ・取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。
- ・会場スペースの関係上、ムービーカメラは1系列局につき1台まで、スチールカメラは1社につき1台までとさせていただきます。

- ・カメラ位置は受付順となります。電源、音声ライン、カメラ台はありません。
- ・お車でお越しの際は、周辺の有料駐車場を御利用ください。
- ・手話通訳が入ります。通訳音源の著作権の関係上、通訳者の発言音声そのまま報道等に使用することはご遠慮ください。
- ・会場内では、お静かにしていただくようお願いいたします。取材以外の行動はお控えください。
- ・当日は、職員の指示に従ってください。指示に従っていただけない場合、取材をお断りする場合がございます。
- ・発熱、咳、くしゃみ等の風邪の症状がある方は、取材をお控えください。
- ・咳エチケットにご協力をお願いいたします。

(3) 取材受付場所

筑波技術大学 天久保キャンパス 総合研究棟

★ プレス受付



※受付で身分を証明できるもの（社員証等）をお一人ずつ御提示ください。

【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課

電話：03-5388-3691